株式会社エービーエム
ABM

2016年度

環境活動レポート

2016年6月～2017年3月

発行日：2017年5月11日

®環境省
エコアクション21
認証番号0011545

～ 目 次 ～

１．社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１
２．組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ２
２－１．事業者名及び代表者氏名
２－２．事業所所在地
２－３．環境管理責任者及び担当者連絡先
２－４．創業（設立）年月日
２－５．資本金
２－６．認証・登録範囲
２－７．事業の規模
３．環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ３～９
３－１．環境負荷の現状（平成27年度環境負荷自己チェック結果より）
３－２．環境目標（単年度・中期）と達成状況
４．環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・・・ｐ９
５．環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・ｐ１１
５－１．適用となる環境関連法規等とその遵守状況
５－２．法令違反・訴訟等の有無
６．代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１１
７．環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１２～１５

株式会社エービーエムは、エービーエムエナジー合同会社を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギー事業を開始しました。（H27.9.24竣工）

ゴールデンウイークに開催される「米沢上杉まつり」。伝統あるお祭りを盛り上げようと、今年も社員有志で「上杉甲冑行列」や「川中島の合戦」に参加協力しました。

社　是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに快適な環境を社会へ提供します

経営方針

私達は　お客様感動を達成します。
私達は　事故ゼロを継続します。
私達は　不祥事案を撲滅します。

環境方針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

１．環境関連法規等を遵守します。
２．電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
３．廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
４．節水に努め、水資源を大切にします。
５．化学物質の使用量を削減していきます。
６．社員のスキル向上により、業務の効率化を図ります。
７．お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
８．地域の環境保全活動に貢献します。

平成28年6月1日

代表取締役社長　赤間俊明

２．組織の概要

２－１．事業者名及び代表者氏名

- 株式会社　エービーエム
- 代表取締役社長　　赤　間　俊　明

２－２．事業所所在地

- 本　　　社：〒992-0003　山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472　山形県南陽市宮内 4641

２－３．環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：事業統括本部長　　岸　本　幸　博
- 連絡担当者　　：営業企画課課長　　田　口　浩　之
- 連絡先：TEL0238-37-5733　FAX0238-37-2822
- Email：sale@y-abm.co.jp

２－４．創業（設立）年月日

- １９６８年（昭和４３年）９月

２－５．資本金

- １，０００万円

２－６．認証・登録範囲

１）対象サイト：本社ならびに南陽営業所

※指定管理施設については、次回更新審査時（平成30年度）までに対象に含めることとしています。

２）事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）、ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）

２－７．事業の規模

事業年度 事業規模	H27年度 （H27.4～H28.3）	H28年度 （H28.4～H29.3）	H29年度 （H29.4～H30.3）
売上高（千円）	733,376	773,711	
認証対象従業員数／全従業員数	216／250	229／263	234／268
従業員数：本　社	38	38	38
従業員数：南陽営業所	7	7	7
床面積（m²）：本社	303.9		
床面積（m²）：南陽	101.8		

注）従業員数は各年度4月時点での在籍数です。認証対象従業員数は、指定管理施設に常駐する者を除いた人数となります。また、本社・南陽営業所の従業員数には、業務受託現場（指定管理施設を含む）に直行直帰する従業員は含まれていません。

3. 環境目標とその実績

3－1. 環境負荷の現状（平成28年度環境負荷自己チェック結果より）

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H26年度東北電力（調整後：0.573）を用いています。

1）当社における平成28年度のCO_2排出量は合計75,565kg-CO_2となっており、前年度比8.0%削減しました。これは平均的な一般家庭15軒分の排出量に相当します。
（平成27年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,920kg-CO_2／出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

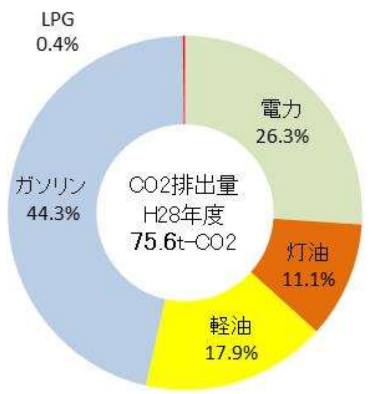
2）当社から排出されるCO_2の62%はガソリン・軽油の消費に伴うもので46,978kg-CO_2（前年比12.1%減）、次いで電力の使用に伴うものが26.3%、19,900kg-CO_2（同5.0%減）、灯油の消費に伴うものが11.1%、8,400kg-CO_2（同13.0%増）などとなっています。

3）ガソリン、軽油は、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。

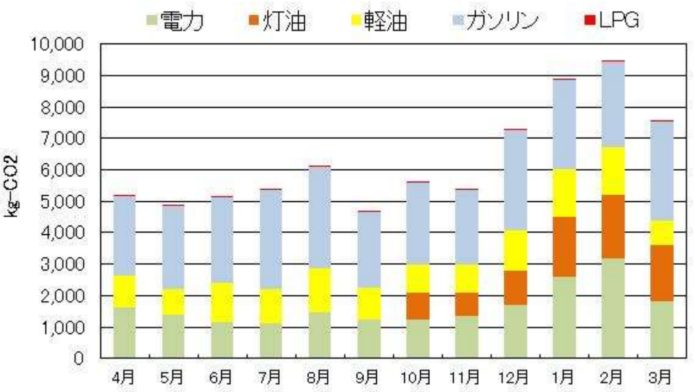
4）月別のCO_2発生量は12月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。H28年度はH27年度に比して、降雪期が早く、寒い日が続いたことから、灯油・電気の使用量は増加しました。ガソリン・軽油は、月による変動にあまり特徴はありません。

5）以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・軽油の削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。

＜二酸化炭素の排出源（H28年度）＞



＜月別二酸化炭素排出量（H28年度）＞



■ 廃棄物排出量

1）一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社1,003kg、南陽164kg、次いで紙類（再生資源）が本社311kg、南陽126kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社27.3%、南陽41.1%となっていました。

2）産業廃棄物：汚泥（ワックス剥離液・洗剤廃液等）が大部分で全体の91.2%（2,304kg）を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量（水使用量）

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、556m^{3}使用しました。前年比9.3%削減しました。なお、放流先は本社は公共用水域（浄化槽）、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量（購入量）

清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあります。H28年度分の使用量は、2-アミノエタノールが4.1kg、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテルが0.4kgでした。

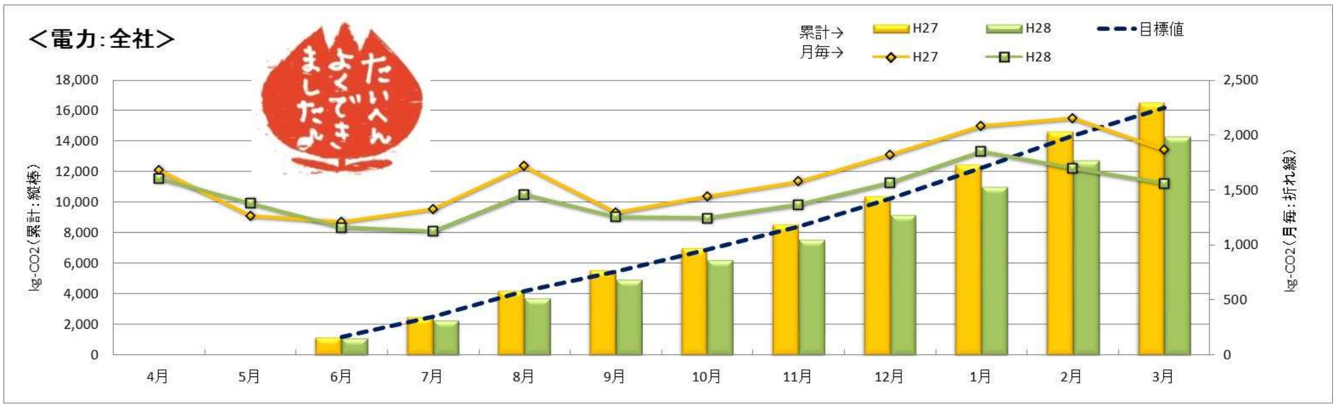
３－２．環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、７項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標＆5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電　力）

【H28年度目標】H27年度比2%削減
【中期目標（H28～32）】H27年度比１０%削減

※冬期間、本社の消雪用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。

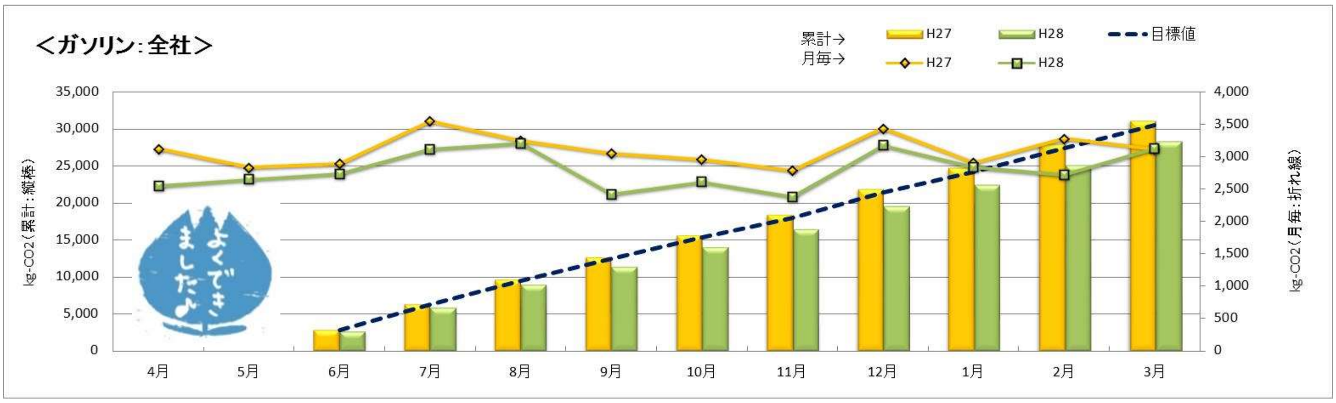


【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：16,537 kg-CO_2
- 取組期間目標：16,206 kg-CO_2
- **取組期間実績：14,306 kg-O_2**
- 増減量：－2,231 kg-CO_2
- **増減率：－13.5%**

【評価コメント】
本社14.9％減、南陽6.3%減と両サイトともに目標を十分にクリアできました。取組開始以降、従業員の環境に対する意識の変化が見られ、省エネ活動が浸透してきたこと、夏場エアコンをなるべく控え、冬期間は20℃設定を徹底、さらにグリーンカーテンなどの効果が相乗的に表れたと思います。

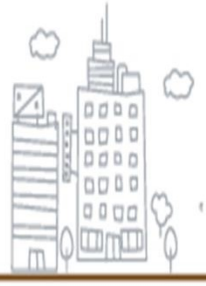
■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【H28年度目標】H27年度比2%削減／燃費の把握
【中期目標（H28～32）】　H27年度比１０%削減する／基準年度燃費を１０%向上



【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：31,135 kg-CO_2
- 取組期間目標：30,512 kg-CO_2
- **取組期間実績：28,285 kg-O_2**
- 増減量：－2,849 kg-CO_2
- **増減率：－9.2 %**

【評価コメント】
本社8.9％減、南陽11.0%減と両サイトともに目標を十分にクリアできました。エコドライブの意識向上、エアコンの使用をなるべく控えるなどの効果があったものと思われます。また、現場によって、直行直帰を認め、走行距離を減少させたことも削減要因のひとつと考えます。



■ 二酸化炭素排出量（軽　油）

【H28年度目標】H27年度比2%削減／燃費の把握
【中期目標（H28～32）】H27年度比１０%削減／基準燃費の１０%向上

【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：14,170 kg-CO_2
- 取組期間目標：13,886 kg-CO_2
- **取組期間実績：11,643 kg-O_2**
- 増減量：－2,527 kg-CO_2
- **増減率：–17.8 %**

【評価コメント】
本社19.8%減、南陽11.0%減と両サイトともに目標をクリアできました。ガソリンと同様、エコドライブの意識向上、エアコンの使用をなるべく控えるなどの効果があったものと思われます。なお、H28の業務量は、むしろ増加傾向にありました。

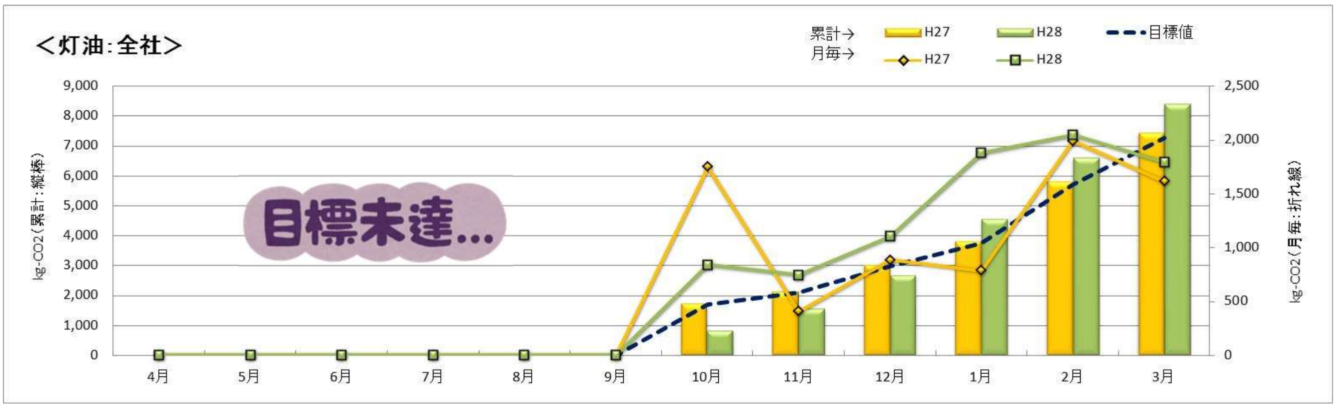
■ 燃　費

	H27年度	H28年度	増減
走行距離(km)	186,808	193,936	+3.8%
給油量(ℓ)	22,204	19,564	-11.9%
燃費(km/ℓ)	8.41	9.91	+17.8%

※全車両(ガソリン車＋ディーゼル車)対象。評価期間:4月～3月。

■ 二酸化炭素排出量（灯　油）

【H28年度目標】H27年度比2%削減
【中期目標（H28～32）】H27年度比１０%削減

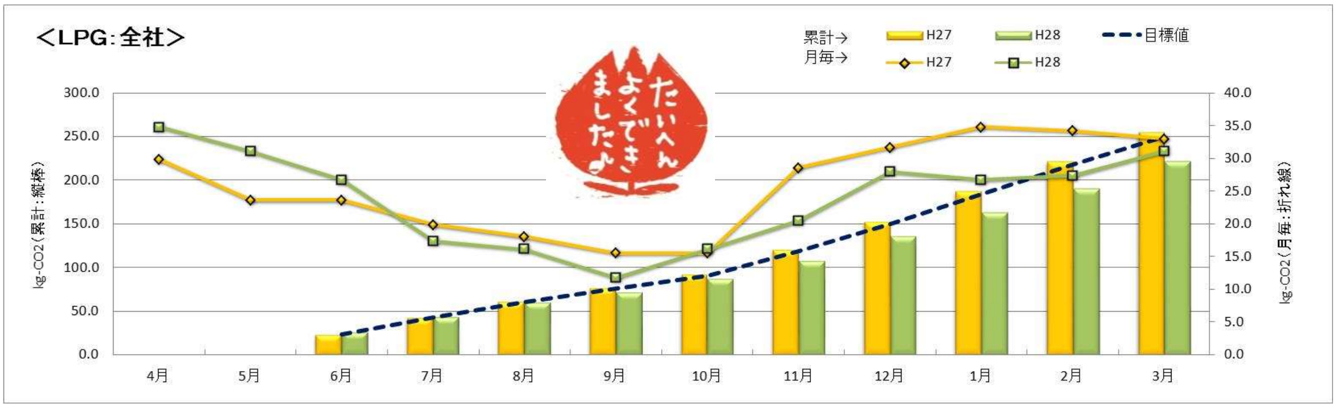


【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：7,435 kg-CO_2
- 取組期間目標：7,287 kg-CO_2
- **取組期間実績：8,400 kg-O_2**
- 増減量：+964 kg-CO_2
- **増減率：+13.0 %**

【評価コメント】
本社24.2％増、南陽20.1％減となりました。H27年度は記録的な暖冬だったのに比して、本年度は降雪が早く、寒い日が続いたため、灯油の使用量が増加してしまいました。なお、南陽の場合、年度途中で、ホームタンクを撤去し、ポリタンクへの給油に切り替えたことが見かけ上、大幅減につながっている恐れがあります。

■ 二酸化炭素排出量（ＬＰＧ）

【H28年度目標】H27年度比2%削減する
【中期目標（H28～32）】H27年度比１０%削減する

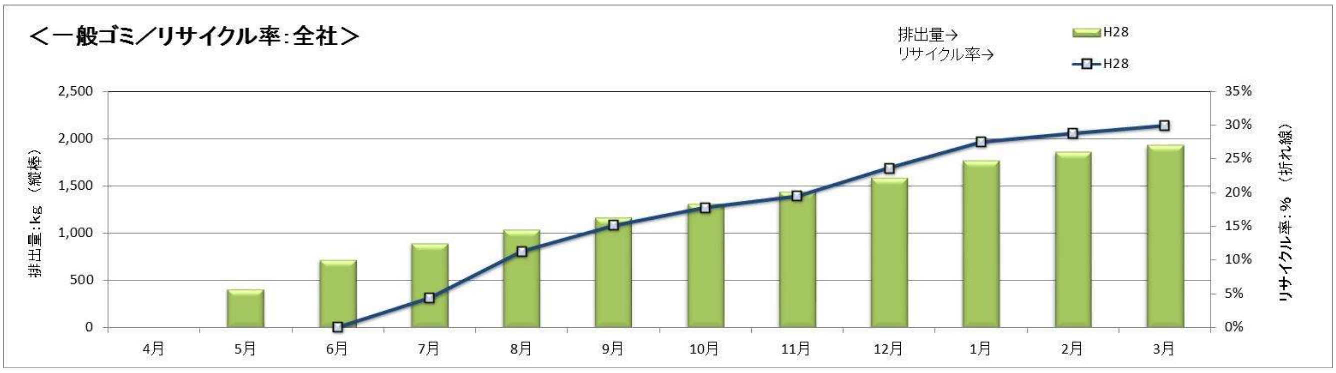


【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：254.8 kg-CO_2
- 取組期間目標：249.7 kg-CO_2
- **取組期間実績：221.8 kg-O_2**
- 増減量：－32.9 kg-CO_2
- **増減率：－12.9 %**

【評価コメント】
本社18.5%減、南陽8.6%減となっています。両サイトともに給湯用での使用のみですが、夏場の使用は控え、温度設定を低くするなどの対策を行いました。南陽においては、12月まで目標未達でしたが、冬期間、危機感を持って、対応した結果、目標を達成できました。

■ 一般廃棄物排出量

【H28年度目標】分別の徹底と排出量・リサイクル率の把握
【中期目標（H28～32）】H28年度比で排出量１０%削減
リサイクル率１０%向上

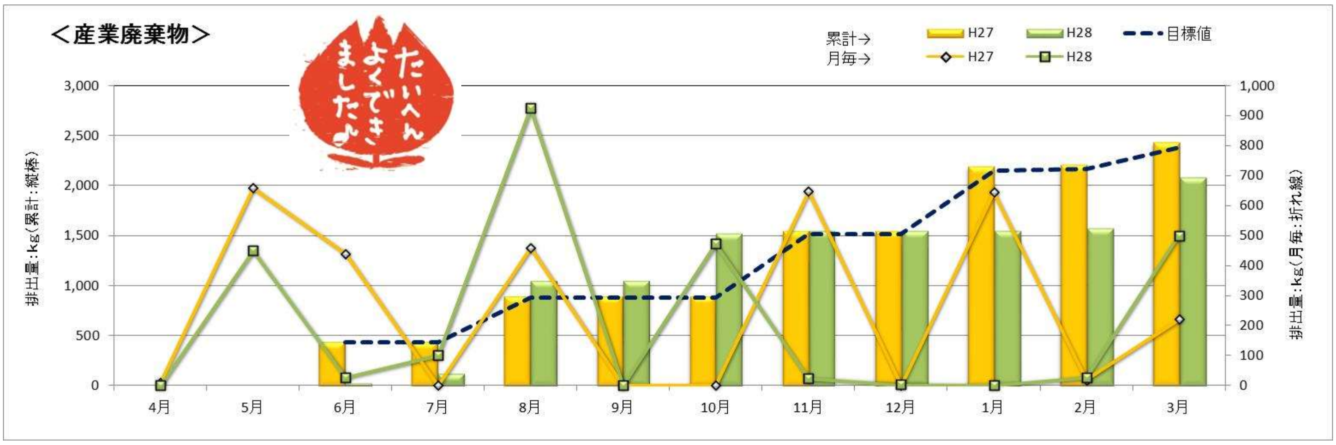


【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：排出量　kg，リサイクル率　%
- 取組期間目標：排出量　kg，リサイクル率　%
- **取組期間実績：排出量1,932 kg，リサイクル率30%**
- 増減量：排出量　kg，リサイクル率　%
- 増減率：　%

【評価コメント】
排出量は、本社1,578kg、南陽354kg、リサイクル率は、本社27%、南陽41%となっています。分別のルールは、概ね定着しています。コンビニ弁当の空容器などの個人ゴミは持ち帰ることとしました。

■ 産業廃棄物排出量

【H28年度目標】H27年度比2%削減
【中期目標（H28～32）】H27年度比１０%削減

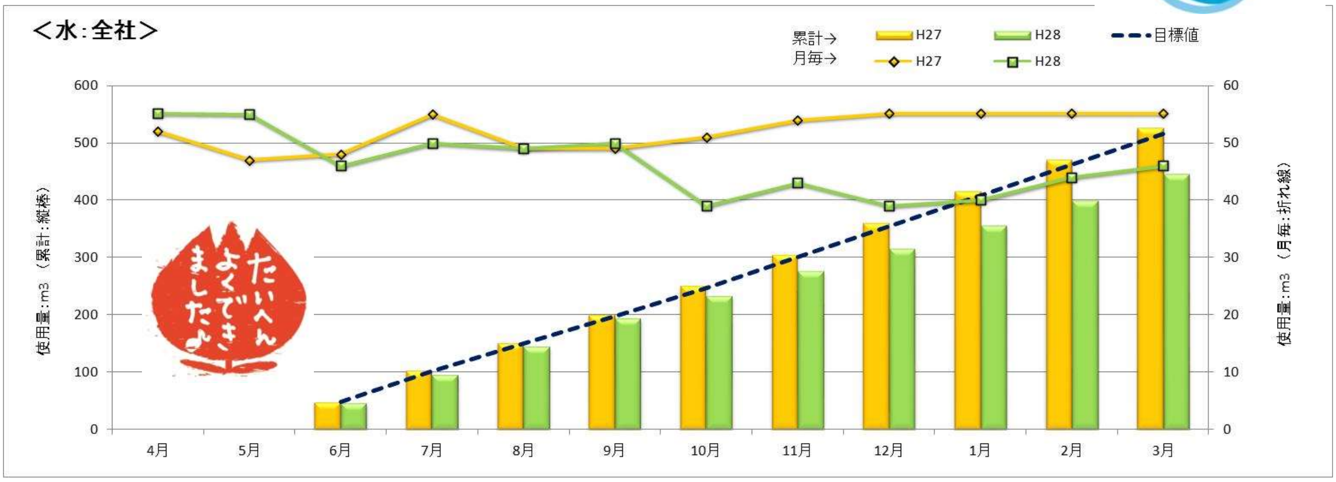


【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：2,433 kg
- 取組期間目標：2,384 kg
- **取組期間実績：2,078 kg**
- 増減量：－355 kg
- **増減率：－14.6 %**

【評価コメント】
8月に汚泥（ワックス剥離液等）を924kg排出しました。この時期、お盆休暇に合わせた定期清掃業務が増加したためです。産廃発生量は業務量に比例しますが「剥離汚水処理マニュアル」に基づき、回収すべき汚水と放流可能な排水を区別して、適切に処理していきます。

■ 水使用量

【H28年度目標】H27年度比2%削減
【中期目標（H28～32）】H27年度比5%削減



【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
- 基準年度実績：527 m³
- 取組期間目標：516 m³
- **取組期間実績：446 m³**
- 増減量：－8.1 m³
- **増減率：－15.3 %**

【評価コメント】
本社13.8%減、南陽17.9%減といずれも目標を大幅にクリアできました。生活用水が主なので、啓蒙活動が中心の活動になりますが、ポットを2つから１つに減らす、業務用のタオルやモップ束の洗濯回数を減らす、蛇口の元栓で出る量を絞るなどの小まめな対策が功を奏したものと考えます。

■ 化学物質使用量（PRTR対象物質）

【H28年度目標】使用量を把握　　【中期目標（H28～32）】基準年度比20%削減

【評価コメント】
清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤に2-アミノエタノールとポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルを含有しているものがありました。それらの合計使用量は4.5kgでした。

■ グリーン購入

【H28年度目標】グリーン購入率の把握（８０％以上）
【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上を維持

【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）
取組期間目標：80 %
取組期間実績：67 %

【評価コメント】
9月以降、事務用品購入量の約2割を占めるコピー用紙をGPN対象品に切り替え、徐々に上昇しましたが目標値には及びませんでした。

■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

１）社員のスキルアップ
…スキルアップ研修会の実施

社是ならびに環境方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【H28年度1人当たりの実施回数】（延べ実施回数）
- *警備課…2回（7回）*
- *業務部…1回（16回）*
- *設備　…1回（4回）*
- *その他の社員（指定管理総務・電話交換等）…1回（2回）*

エービーエムは、経営理念として「Customer Delight（お客様感動）」を掲げ、社員の知識・意識・技術向上を目的とした研修・教育を積極的に実施しています。当社の清掃スタッフは、清掃の技術・知識はもちろん元気なあいさつ、マナーなど「おもてなし」の心を持ち、お客様や社会に奉仕するための「人間力」を磨いています。

２）誤発報による緊急出動回数の削減
…該当発生回数の把握＆原因分析

	H27年度	H28年度	増減
誤発報出動回数	197回	215回	18回増
全出動回数（駐車場対応除く）	334回	367回	33回増
誤発報出動率	59.0%	58.6%	0.4%減

新規物件が増加し、全体の出動件数が増加しました。誤発報の原因は、契約施設での人為的なミスによるものが約50%を占めることが判りました。今後、お客様に使用方法を理解してもらうための取組を推進していきます。

■ 地域の環境保全（山形エコアクション２１対応項目）

【H28年度目標】会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～32）】上記を継続的に実施

ゴミが側溝に入れば、やがては、米沢を源流とする山形県の母なる川「最上川」を汚すことになります。このことを念頭に置いて、環境方針に定める「地域の環境を保全する」ため毎月1回、会社周辺の清掃活動を実施しています。また、山形県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている環境NPO「環境ネットやまがた」に入会しました。今後、その活動を積極的に支援・協力していきます。

４． 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容

＜評価判定の目安＞
○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容（どのように）	6～8月	9～12月	1～3月	備考／是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	○	○	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	
		■クールビズの推進（機能性下着の着用）	○	－	○	
		■ウォームビズの推進（保温性の高い下着の着用）	／	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	△	○	○	PCごと設定を確認
		■トイレの暖房便座は夏期OFF（温水の温度設定は「低」）	○	－	－	
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	－	－	
		■電力モニターの導入検討（電力使用量の見える化推進）	△	△	△	経費を確認
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修	△	○	○	DVDを利用
		■エコドライブ自己評価を実施（チェック表による）	△	○	○	4半期ごとに実施
		■燃費・走行距離の把握（車両日報の記入）	○	○	○	
		■5000km（6ヶ月）ごとにオイル交換、10000km（1年）ごとにエレメント交換（ハイブリッド車は別途規定する）	○	○	○	
		■適切な時期でのタイヤ交換	○	○	○	
		■適切な空気圧の維持	○	○	○	
		■エコタイヤの導入	○	○	○	
		■不要な荷物を乗せたままにしない	○	○	○	
		■業務の効率化（車両運行ルートの管理）	○	○	○	
		■計画的な低燃費車両への入れ替え	○	○	○	
	■その他化石燃料の削減（灯油・LPG）	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	／	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	／	×	×	是正対象
		■ウオームビズの徹底（服装による省エネ推進）	／	○	○	
		■必要最低限の温度で給湯（夏期は使用しない）	○	○	○	

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容（どのように）	6～8月	9～12月	1～3月	備考／是正処置の必要性等
廃棄物排出量の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	■分別のルールの確立と周知徹底	△	○	○	
		■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の徹底）	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	
		■社内の整理整頓	△	△	△	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理（安全衛生状態も含む）	○	○	○	
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	○	○	○	
		■充電式乾電池への転換	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	
		■委託先の状況確認	－	○	－	
化学物質管理	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	○	○	○	
	■対象化学物質の削減	■対象化学物質含有量の少ない製品の選定	△	△	○	
	■清掃方法の改善	■化学物質を使用しない清掃手法の検討（情報収集）	○	○	○	
総排水量の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整（必要最小限の流水量）	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	／	－	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク（GPN）認定商品（エコ商品）の選定	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	○	△	○	
自主設定項目（製品サービス関連）	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■機器点検の実施	○	○	○	
		■異常発報件数の把握	△	○	○	
		■対策の検討	△	△	△	
山形EA21関連	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会（支援・協力）	△	○	○	
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	－	

冬期間の断熱対策として計画した「窓の内側への断熱材の貼り付け」が未実施になってしまいました。担当者が曖昧だったこと、具体的な方法が分からなかったことなどが原因です。H28年度、灯油の削減目標が未達になったことも含め、来シーズンに向け、効果的かつ具体的な活動計画を策定し、確実に実施することとします。

＜次年度以降の取組の概要＞

初年度、本社ならびに南陽営業所でスタートさせた取組を平成29年度以降、指定管理先まで広げていくことが最優先課題となります。指定管理施設の特徴や契約形態など、状況に応じた取組を策定し、着実に実施していきたいと思います。当社の業務はサービス業であることから、取組の内容はハード面より、ソフト面が中心となります。従業員の環境教育の充実により、モチベーションを高め、質の高いサービスを提供していきたいと思います。

米沢市児童会館（指定管理施設）は、毎年、「エコキャップ推進運動」に取り組む山形銀行米沢西支店にペットボトルキャップを寄贈しています。来館者、エービーエム社員などから集められたキャップは約96,000個（ワクチン34人分）になりました。

事務所の南側にゴーヤを植えました。（H28.7）早く育って、「緑のカーテン」になってほしい。

５．環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

５－１．適用となる環境関連法規等とその遵守状況

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

５－２．法令違反・訴訟等の有無

当社では、下記の環境関連法規等が適用されますが、平成28年8月31日付でその遵守状況を確認した結果、置賜広域事務組合火災予防条例、廃棄物処理法、フロン排出抑制法について、いくつかの問題点が発見されましたが、下記のとおり、適切に改善されたことを確認しています。

■西置賜行政組合火災予防条例：少量危険物貯蔵所（灯油タンク）の届出（H28.8.31完了）
■廃棄物処理法：保管場所への掲示板設置（H28.8.31完了）、委託先の状況確認（H28.11予定）
　　マニフェスト実績報告の提出（H28.9.9提出）
■フロン排出抑制法：エアコン等の簡易点検の実施（H28.9から実施）
■水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
■浄化槽法：問題なし
■下水道法：問題なし
■自動車リサイクル法：問題なし
■家電リサイクル法：問題なし

６．代表者による見直しの結果

平成28年6月にキックオフを行い、コンサルタントの指導の下、認証取得に向けた取組をスタートさせました。その後、EA21推進委員が中心となって取組を進め、12月2日付で無事、認証登録を受けることができました。平成28年度の取組の結果については、最も環境負荷の大きいガソリン、軽油の削減については、その成果が十分に表れたと思います。エコドライブへの意識向上、エアコンの使用自粛、現場直行直帰の推奨などの対策が功を奏したようです。一方で、冬期間、暖房に使用する灯油の使用量が増加し、目標を達成することができませんでした。昨シーズンに比して、今シーズンは、降雪が早く、寒い日が続いたことが大きな要因ですが、来シーズンに向けては、効果的な対策を模索し、リベンジを果したいと思っています。また、ゴミの分別などについては、なお一層、周知徹底を図っていく必要があると感じています。

平成29年度からは、その取組を指定管理先も含め、全社的に拡大していくこととしています。そのために、指定管理先に施設環境管理責任者を配置し、実施体制の強化を図ることとしました。

安全衛生の取組と同様、環境への取組も業務と一体化して、自然体で行われていくことを願っています。

株式会社　エービーエム　　代表取締役社長　　赤　間　俊　明

「あいさつバッジ活動」展開中！

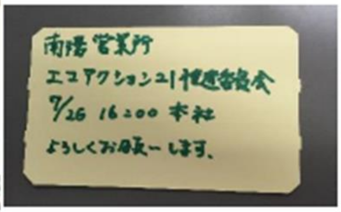
認証登録へキックオフ!!

平成２８年６月、米沢市市民文化会館において、株式会社エービーエムエコアクション２１キックオフミーティングが開催されました。社員の関心も高く約８０名が参加されました。赤間社長から環境理念が発表され「私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現のため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、安全・安心・清潔を通して真心サービスを提供しお客様の環境負荷の削減に寄与します」と述べられたあと、具体的な環境行動指針が発表されました。つづいて、エービーエムエコアクション２１コンサルタントで、河合環境コンサルタント事務所所長の河合直樹先生からエコアクション２１についての講話がありました。先生からは「エコアクション２１は単なるケチケチ活動でない。環境マネジメントシステムを経営革新のきっかけ作りにしてもらいたい。大切なのは社員のモチベーションをいかに引き出すかどうかである。」とお話をされました。最後に五十嵐南陽営業所所長から平成２８年度エコアクション２１推進委員会のメンバーが紹介されました。

エービーエム環境コミュニケーションレポート

エコアクション始めました!!

エコアクション推進委員会を中心に、株式会社エービーエムでは、エコアクション２１認証取得のため、社員周知のために様々な方策を実施しております。取り組みの一部を紹介します。



○古紙回収ボックスの購入設置
○ゴミ箱のリニューアルとポップの設置
○省エネへの周知のポップ設置
○本社事務室の照明ＬＥＤ化及び分灯化
○緑のカーテン（社長室）
○事務室のすだれ設置
○駐車券の再利用
○エアコン設定温度２８度厳守
○クールビズ実施
○廃棄物の保管場所の表示
○エコアクションチャレンジシール作成
○ゴミの計量実施

などなど。そしてこの「えーころじー」の発行です。ゴーヤーの収穫がまもなくです。「欲しい！」という方はＥＡ２１推進委員会のメンバーまで（先着順）

エコアクション２１推進委員会座談会

無事、エコアクション２１を認証取得してほっとしている、エコアクション２１推進委員会のみなさんにいろいろと思いを語っていただきました。その様子をお送りいたします。

（K）事務局の認証までの振り返って、２月１８日に五十嵐所長と二人で訪問、３月に事務局で訪問。そのあとモスバーガーでみんなで食べた。事務局のみんなが私のおごりだとわかっておかわりしたのをしっかりと覚えている。そのあと、飯豊少年自然の家、指定管理の話を聞きに行った。昨年は人事やナセＢＡ立ち上げも重なり、超忙しかったがやってよかった。
（T）グリーン購入、気にしてみたこと無かった。気も無かった。取り組みを始めて、対象でない商品を買おうとしたり、カタログ見るのが楽しかった。
（E）廃棄物の分別、節水、エコアクションやらなかったらやっていなかった。
（T）駐車券の再利用はすごいアイデアだった。一気に定着した。遠藤係長の提案した封筒の再利用まだ出来ていないｗ
（I）昨年の２月からあっとゆう間だった。
（K）ゴミも、エコアクションやってから意識するようになった。ゴミを捨てれなくなった。半年振りに事務所のゴミ箱に入れていたコンビニゴミを捨てたｗみんなのゴミ箱を意識するようになった。
（S）警備もゴミを持ち帰っていくようになった。毎朝のようにゴミを捨てていたが、回数が減った。
（T）分別に困ったときはコンビニｗ。
（E）裏紙は再利用は定着した。その他の紙は愛のリサイクルで、リサイクル率の向上になる。
（S）ゴミは気にするようになった。コンビニの弁当ゴミをすすいだりするようになった。
（K）節電の意識高くなった。社長が率先して照明を消していく、俺居るのにｗ。ところで、事務所の電気って、最後の人は元スイッチで消していくのか？
（T）そうです。昼休憩のときは、まだデスクにかじりついている人がいても田口さんが強制的に消灯しますｗ
（K）業務部の控え室、誰も居ないのに、点いているときがあって、消してよいのか、迷う。
（E）再度、周知徹底いたします。
（T）本審査のとき、審査人とコンサルタントの先生を現場に車で私が案内したがそこでも１対２でヒヤリングされた。会社のかなりディープなところまで聞かれてとまどったｗ

A－cology（えーころじー）から・・・

省エネ家電の秘密を解明!!

エコアクション２１推進委員会では、省エネ家電がどうして省エネなのかを調べるため、調査員を現地に派遣し、その秘密に迫りました。メーカー担当者は「極秘事項だから」と口ごもって教えていただけなかったのですが、我々は、あるルートを通して極秘資料を入手、その全貌を明らかにする。（うそ）

そんなわけで、省エネ家電がどうして省エネなのかを、時代の最先端であるインターネットを駆使して調査いたしました。まずは、身近な家電の冷蔵庫です。

■冷蔵庫の省エネ技術

その１　インバーターがすごい！

冷蔵庫のインバーター制御は、従来一定だったコンプレッサーの回転数を変化させ、効率よく運転する技術です。扉の開閉や、庫内・周辺温度に適した状態で、コンプレッサーの回転数を制御しきめ細かい運転が出来るため、冷え具合に応じて冷却力を効率良く制御し、省エネ効果を発揮します。

その２　自動省エネ運転がすごい！

長時間扉の開閉がない時、室内が暗くなった時など、自動的に省エネ（節電）運転に切り替え、通常運転と比較して消費電力を低減させます。

その３　断熱材がすごい！

高性能断熱材の使用により、庫外からの熱の侵入を防止。断熱効果の上昇により、省エネに貢献します。真空断熱材の熱伝導率は従来のウレタンに比べ約１０分の１です。

次回はテレビ編をお送りいたします。

今月のECO目標

ポストイット使うの控えよう！
（裏紙を積極的に使おう）

何かと便利なポストイット、でも便利ゆえ、使ったらそのままゴミ箱にポイっていう人も多いのでは？いらなくなった裏紙を使えばゴミも削減出来て購入する経費も削減できます。警備課では回収した駐車券の裏を使ってメモやふせん代わりに使っています。
五十嵐所長は裏紙を何枚か重ねて、メモ帳に。
皆さんも工夫してみてください。
ちなみに駐車券が欲しい、使ってみたい人は
警備の芝係長まで。

エコドライブを心がけよう！

８月は残暑が厳しくついエアコンに手が伸びてしまいがち。ここを乗り切ることが、エコアクション２１認証に近づきます。そこで、やってる人もやっていない人も「エコドライブ」実践してみよう！

1．　ふんわりアクセル「ｅスタート」
2．　車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3．　減速時は早めにアクセルを離そう
4．　エアコンの使用は適切に
5．　ムダなアイドリングはやめよう
6．　渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7．　タイヤの空気圧から始める点検・整備
8．　不要な荷物はおろそう
9．　走行の妨げとなる駐車はやめよう
10.　自分の燃費を把握しよう

暖房の温度２０℃設定
＋ウォームビズ

いよいよ、雪のたよりもちらほら聞こえてくる１１月。環境省は、冬の暖房時の室温の目安を20℃に推奨しています。サーキュレーターや扇風機を併用して空気を循環させたり、断熱シートなどで窓を断熱して外からの冷気を遮断することで、20℃設定でも暖かく快適に過ごしていくことが可能になります。一般的に、電力による冷暖房を行う場合、室温設定の調節による省エネ効果は、夏よりも冬のほうが大きいことが知られています。冬の暖房器具使用時に室温設定を今までよりも下げるようにすれば、CO2削減効果があるばかりでなく、電気代を効果的に節約することにつながります。ウォームビズは、家庭やオフィスにとって経済的なメリットもあるのです。今年の冬はインナー着用でココロも懐もポッカポカですね。

自家用車の燃費を意識してみよう

自家用車の燃費って意識していますか？最近の車は燃費が表示されるようになっていたりするので、目にしている人は多いと思います。車の種類・性能が違えば燃費も違ってきます。ハイブリッドカーなどは約20km/Lを超え、同じ道、同じ距離を走るなら燃費が良い車の方が当然ガソリン代が安く済みます。自動車の燃費は「車の重さ」「走る環境」「車の調子」などの使う条件で変化します。荷物をたくさん詰め込んで山道を走っている時は燃費は悪くなります。燃費向上のために余計な荷物は降ろしましょう。また、タイヤの空気圧が規定値より低い、エンジンオイルが汚れているなど、車の調子・状態が悪いと、燃費は悪くなります。車検の時だけではなく、定期的にガソリンスタンドなどで点検をしてみましょう。普段のメンテナンスを怠っていると燃費は悪くなるだけではなく、突然、予想外のトラブルに合う可能性もあります。長く快適に乗れれば、それが真のエコにつながります。

エアコンや暖房器具の
メンテナンスをしよう！！！

１０月に入り、めっきり寒くなりました。そろそろエアコンやファンヒーターの出番が近づいてきました（もう使っている人もいるかも）そこで、今月は、これからの使用に備えて、エアコンや暖房器具のメンテナンスをしましょう。メーカーによると、エアコンのフィルターを頻繁に掃除することで、消費電力を10%～25%も削減することができるそうです。フィルターを掃除することで、CO2排出量の削減や、電気代の削減だけでなく、エアコン内部のほこりやカビ、ダニを室内に送り込まれるという健康への問題を避けることができます。
でも自分ではしたくないという方に朗報、今ならエービーエム社員価格　エアコン一基８，０００円　で承ります。詳しくは業務部　遠藤係長まで。

バッテリーをチェックしてみよう

バッテリーが壊れたら、エンジンをかけることもできません。バッテリーの役割を説明する上で欠かせないのはオルタネーターで、車の発電機のような物で、走行中はエンジンの力で回しており、エンジンの回転数が上がるほど、オルタネーターの発電量も増加させることができます。また、このオルタネーターは、エンジンが回っている間は車内で使用される電気を供給し、同時にバッテリーの充電も行ってくれます。しかしバッテリートラブルを起こしてしまうと、性能は大きく劣化してしまい、そうなると、バッテリーはどれだけ充電しても、高い電圧を出せなくなります。そして電圧が低くなったバッテリーを使っていると、オルタネーターに負担が掛かる事で、燃費が悪くなってしまいます。冬場は暖気などで電気使用量過多になりがち。ガソリンスタンドの無料チェックを受けてみましょう。

ゴミの分別の徹底！
（捨てる前に再確認）

ゴミの分別を徹底しましょう。ゴミはゴミ、資源は資源です。特に、コンビニなどの弁当容器ですが、出来る限り水洗いして水を切ってからプラスチックゴミ箱へ出せば資源になります。大きな声では言えませんが、コンビニで買ったゴミはコンビニに。職場には、仕事以外のゴミは持ち込まないようにこころがけましょう。

冬の省エネグッズを活用しよう

「とにかく寒くて仕方ない」「冬になると電気代が気になる」という皆様も多いと思います。今年の冬はこれから紹介する「省エネグッズ」を活用してみましょう。

1.断熱シート
これを使うと窓から入ってくる冷気をカットすることができます。最近では窓ガラスに水を吹きかけて貼るだけでいいタイプもありとても簡単です。

2.ゆたんぽ
沸かしたお湯を専用の容器に入れるだけ、長時間暖かさをキープすることが出来、電気代はゼロ！最近は布団だけでなくオフィスに持っていく人も増えているそうです。先人の知恵はすごいですね。

3.着る毛布
気になった方はネットでチェック!!!

暖房の設定温度を上げるのは簡単ですが、無理ない程度で工夫してみませんか？

タイヤの空気圧チェックしよう

空気圧が標準よりも低いとタイヤが変形しやすくなり、ころがり抵抗（摩擦）が大きくなって燃費が悪くなるそうです。タイヤの空気は徐々に抜けていくので、減少分を見込んで10%高く入れるのがおすすめです。「毎月〇日は空気圧の日」とか「月初のドライブは空気圧チェック」など、日を決めてガソリンスタンドなどでチェックしてもらうことを習慣づけるのもいいですね。でも空気圧のチェックは、タイヤが冷めている状態で行ってください。散々走り回った後では、中の空気が膨張してふだんより空気圧が高くなっているので、正確な値が出ないそうです。

スタッドレスタイヤに交換した時に空気圧チェックしていると思いますが、これから冬本番、再度チェックしてみてはいかがでしょうか？

今月の燃費ナンバーワン車両は？

燃費ダービーもし烈な争い‥

1月	燃費	車種	所属	先月
1位	15.6km	日産モコ	営業	10位
2位	15.4km	日産ﾃﾞｲｽﾞ	業務部	1位
3位	11.6km	ｽﾊﾞﾙｻﾝﾊﾞｰ	設備管理部	2位
4位	11.3km	ﾎﾝﾀﾞ軽ﾜｺﾞﾝ	業務部	6位
5位	10.8km	ｽｽﾞｷ ﾜｺﾞﾝ	児童会館	7位

雪の多かった１月、予想通り荒れた展開になりました。絶対王者の日産ﾃﾞｲｽﾞを押さえ、１位に輝いたのは、営業の日産モコ。くしくも日産の新旧軽対決となりましたが僅差で逃げ切りました。３位以下は大雪だったためか、燃費が軒並み下がっております。１月に続いて雪がたくさん降った２月、もう予想が出来ないぐらいの混戦模様。次月も見逃せません！

ユーモア川柳の部　社長賞１本・優秀賞２本

社長賞

ビル管を　取るぞと開けた　ビール缶
文化会館　加藤係長

思ってもいなかった社長賞をいただきましてありがとうございます。多くの素晴らしい作品の中でこの賞をいただいたことを嬉しく、そして重く受け止めています。ビル管試験までは、ビール缶ではなく問題集を開けるよう努めてまいります。

安全も衛生も環境も・・・「三方良し」

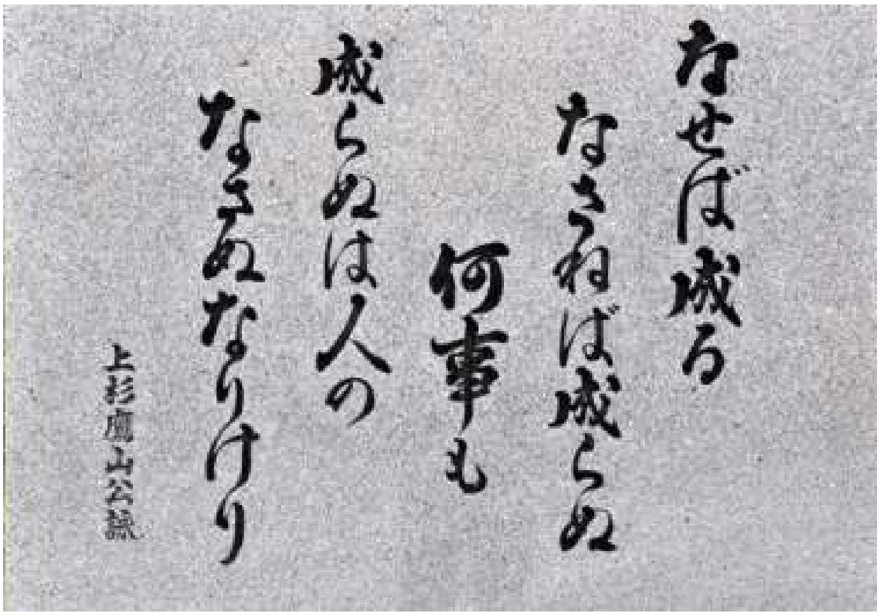
安全衛生面で配慮された職場は、作業効率も働く人のモチベーションも高く、環境にもやさしい職場です。

安全衛生標語の部　会長賞１本・優秀賞５本

会長賞

慣れた作業も過信せず　原点回帰でゼロ災害
米沢市立病院　村上健寿

前々回は川柳で社長賞。今年は思いがけない会長賞をいただきとてもうれしく思っております。毎回応募していますが安全標語になるとありふれた標語にならないようにと深く考えすぎていましたが、今回は本年度当社のスローガン「原点回帰」を使ってシンプルにした結果が的中しました。受賞した標語をしっかりとインプットして日々作業にあたりたいと思います。



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
弊社ＨＰ（http://www.y-abm.co.jp/）、エコアクション２１中央事務局のＨＰ（http://www.ea21.jp/）でもご覧いただけます。

〒992-0003　山形県米沢市窪田町窪田584-2
TEL0238-37-5733　FAX0238-37-2822
Email：sale@y-abm.co.jp